

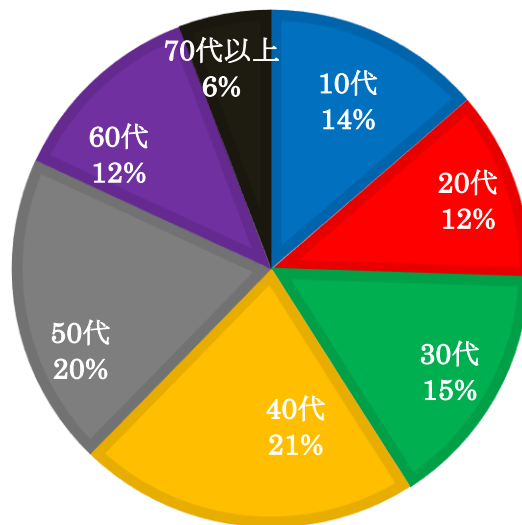
## 2017年度 J-BADO 結果

※医療観察法病棟を除く全病棟の新規入院

### 2017年4月～2018年3月新規入院例（入力数）

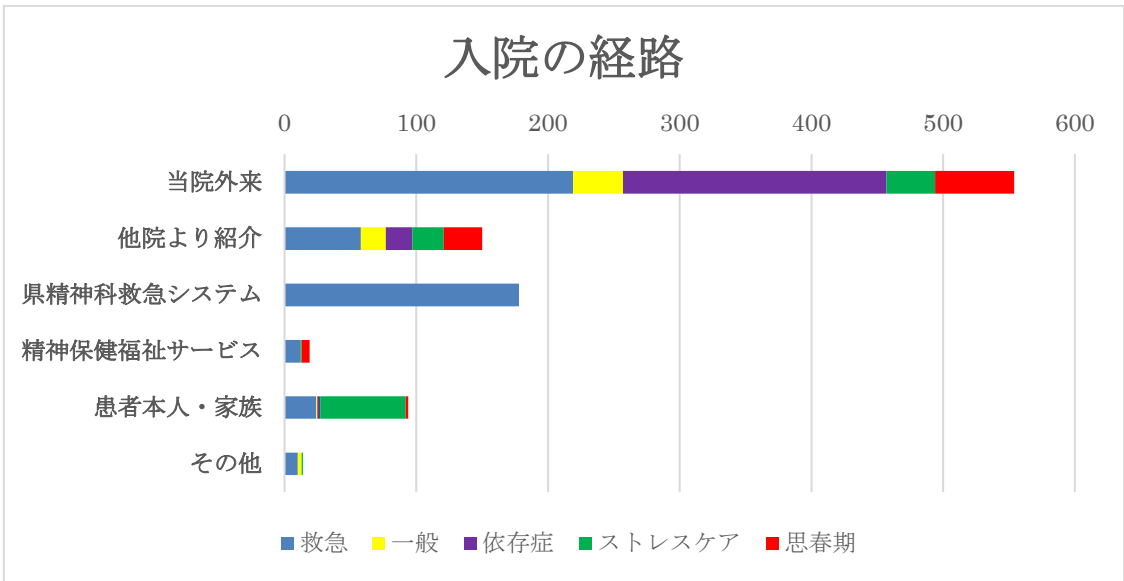
	救急	一般	依存症	ストレスケア	思春期	全体
入院数	503	61	222	128	97	1011
退院数	330	86	195	113	90	814
平均在院日数	50日	63日	47日	65日	55日	52日

### 年代別入院割合

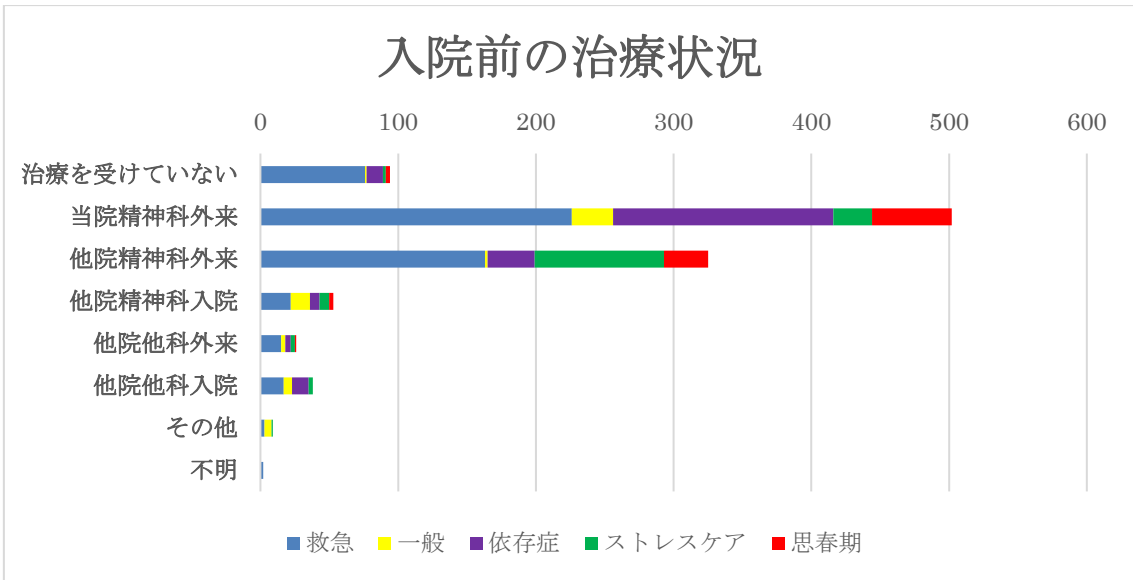


40代が最も多く、50代、30代が続く。

10代の多くは、思春期病棟への入院である。

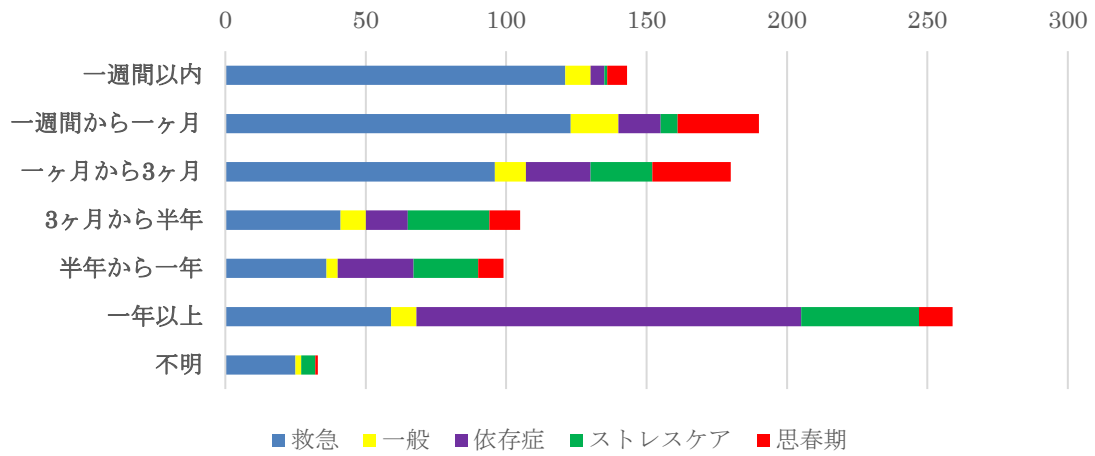


ストレスケア病棟では、患者本人・家族からの依頼が最も多い。  
それ以外の病棟では当院外来経路が最も多い。



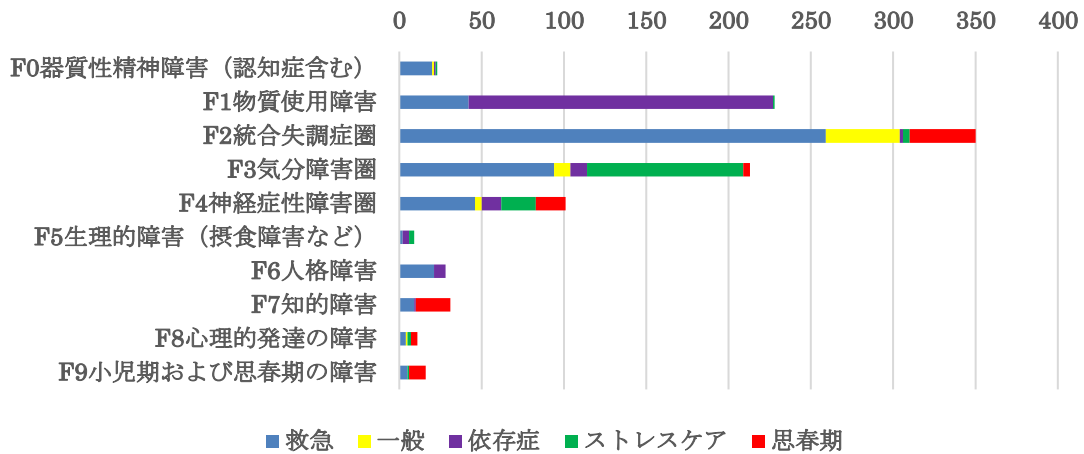
全体で当院精神科外来が最も多い。

## エピソード発生から入院までの期間



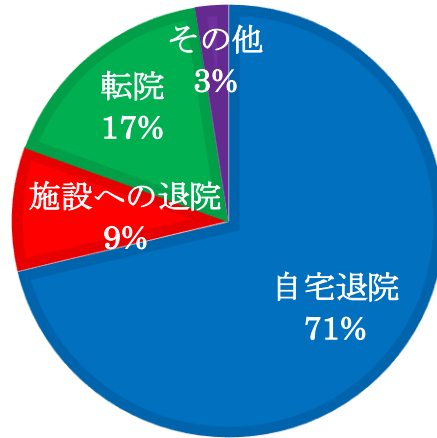
エピソード発生から入院までの期間は、発症または今回の病状悪化から、入院に至るまでの期間を指す。救急病棟、一般病棟、思春期病棟の多くが3ヶ月以内に入院しているが、依存症病棟、ストレスケア病棟では、1年以上経過しての入院が最も多い。

## 入院時診断 (ICD-10)



全体では統合失調症圏が最も多く、物質障害圏、気分障害圏が続く。

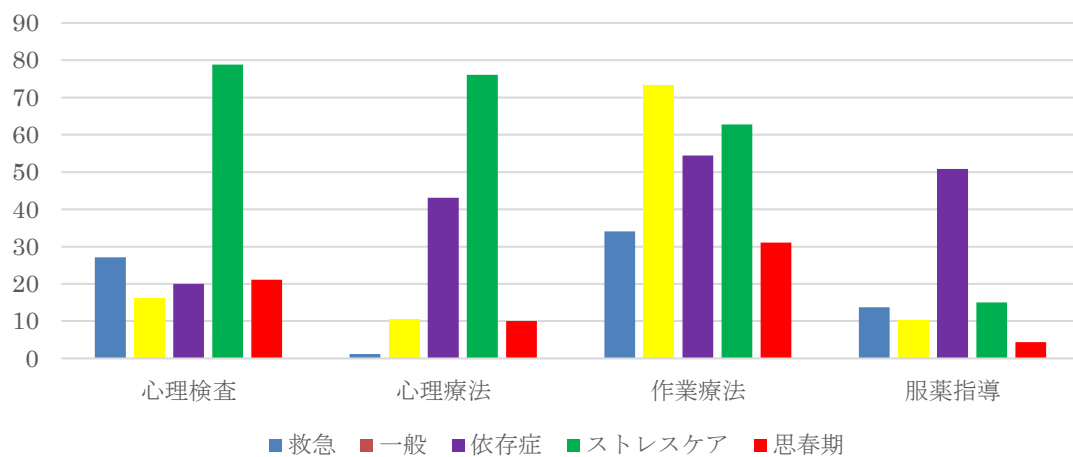
## 退院時の転帰

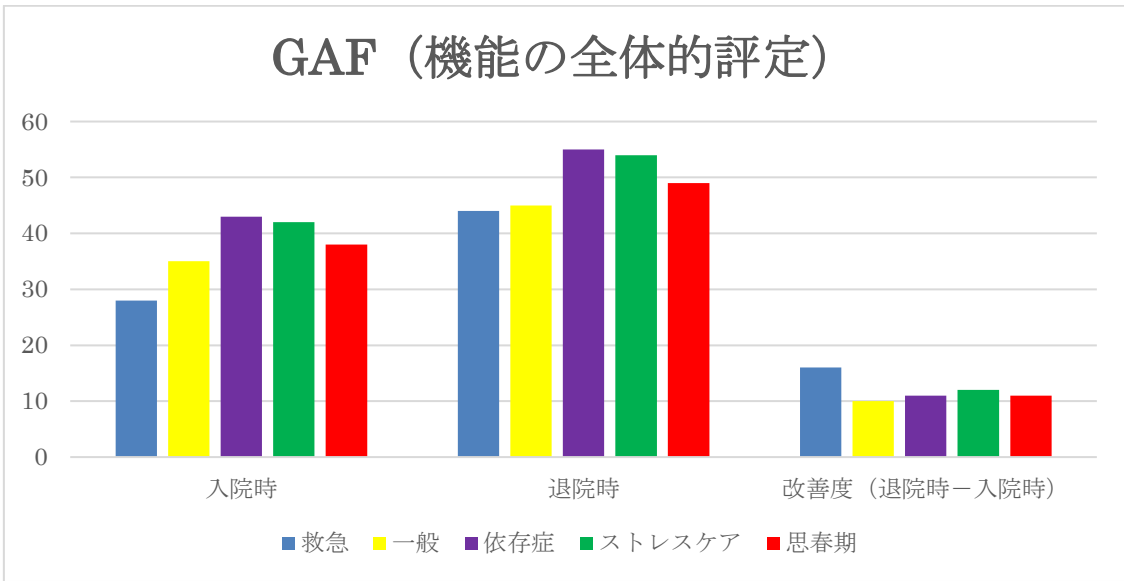


7割が自宅退院している。

転院例の多くは、神奈川県救急システムの後方移送、身体合併症のための転院である。

## 入院中の心理社会的治療 施行率 (%)





GAFは100点満点で、数値が高いほど心理社会機能が高く重症度が低いことを意味している。すべての病棟でGAFは改善している。